

令和2年第3回北海道議会定例会 予算特別委員会 知事総括 開催状況  
(経済部労働政策局雇用労政課)

開催年月日 令和2年9月30日  
質問者 日本共産党 菊地 葉子 委員  
答弁者 知事

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p><b>三 新型コロナウイルス感染症対策等について</b> <b>(一) 雇用対策について</b> <b>1 本道の現状に対する認識について</b> (菊地委員)</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大に関する解雇や雇止めが、9月18日時点で2,412人に上り、この北海道が全国4番目に多いという現状が明らかになりました。知事は、この極めて深刻な現状をどう受け止め、どのように対応しようとしているのか伺います。</p> <p><b>2 小学校休業等対応助成金・支援金等の改善について</b> (菊地委員)</p> <p>新型コロナウイルス感染症による小学校休業等対応助成金・支援金等の制度が活用できず、苦しんでいる道民の声が寄せられています。</p> <p>分科会で経済部は、事業者に周知すると答えましたが、解決につながっていません。十分活用しきれない実態を知事はどう認識されているか。制度改善を国に求めるべきではありませんか、伺います。</p> <p><b>3 国に対する道独自の要望について</b> (菊地委員)</p> <p>道は、国に対するコロナ禍における雇用関係の要望について、5月を最後に行っていません。他県に比べて雇用状況が深刻な中、道独自に国への要望を早急に行う必要について、知事の見解を伺います。</p>	<p>(知事)</p> <p>雇用情勢などについてであります。感染症の拡大により、道内経済が大きな影響を受ける中、本道の就業者数は正規・非正規ともに、前年同期と比べ、減少するなど雇用調整の動きが見られるほか、感染症に起因し、ハローワークなどに解雇や雇止めの相談があった労働者数も、全国に比べて高い水準にあるなど、予断を許さない状況が続いていると認識をしております。</p> <p>道では、今後とも、雇用情勢の変化を適時、的確に把握しながら、道民の皆様の雇用の安定に向け、必要な取組を進めてまいりたいと考えております。</p> <p>(知事)</p> <p>小学校休業等対応助成金や支援金についてですが、道では、子どもの世話をする労働者の方々が、安心して休むことができるよう、小学校等が臨時休業した際に、この助成金や支援金を活用していただくため、事業者の皆様に対して繰り返し周知を図ってきたところでございます。</p> <p>先月、国では、9月30日までだった本制度を12月末まで延長することとしており、道としては、道内企業の方々の理解を促進するため、引き続き、感染症の状況を注視するとともに、助成金の活用状況の把握にも努めながら、経済団体、業界団体や市町村、労働団体の皆様とも連携し、その活用を促してまいります。</p> <p>(知事)</p> <p>国への要望についてですが、道では、道単独のみならず全国知事会とも連携をし、経済・雇用対策など感染症の影響への対応について、繰り返し、国に要望を行っており、雇用調整助成金の特例措置の拡大や家賃支援給付金の創設など、様々な支援策につながったものと考えております。</p> <p>道としては、今後とも、地域の経済・雇用情勢を的確に把握をし、経済団体や市町村、労働団体の皆様からのご要望もお聞きしながら、年末まで延長された雇用調整助成金の特例について、来年以降も柔軟に対応することや緊急雇用創出事業の創設など、雇用の維持と創出に必要な対策の充実や強化について、道内の感染状況を踏まえながら、適時、適切に国に求めてまいります。</p>

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p><b>4 雇用維持に向けた知事としての行動について</b> (菊地委員)</p> <p>雇用状況の深刻さをしっかり受け止め、雇用確保に向けて知事が気概を示して行動をすべきと考えますが、決意をお聞かせください。</p>	<p>(知事)</p> <p>雇用維持に向けた取組についてではありますが、感染症の収束が見通せない中、本道の雇用情勢は予断を許さない状況が続いており、道では、求職者の方々への支援とともに、企業による雇用の維持や拡大を図っていくことが、重要と考えているところでございます。</p> <p>道では、これまでも、経済・業界団体に対し、雇用調整助成金の活用や非正規労働者の方々の安易な解雇、雇い止めを行わないことなどについて、繰り返し、要請してきたところでありまして、引き続き、感染症が本道の雇用に与える影響を注視しながら、私自ら、経済団体に要請するなど、国や関係機関の方々と連携をして、道民の皆様の雇用の維持や安定に向け、積極的に取り組んでまいります。</p>